

新風会

答 19年1月末時点で、徴収率は八五・七％、前年比十五億円余の増収となる一方、滞納額は十億円余の減少となった。17年度から取り組んだ滞納案件への早期着手、滞納処分強化等が着実に効果を上げており、19年度もこの方針を徹底する。さらに、差し押さえ物件の公売促進と口座振替制度の一層の利用促進に取り組むとともに、悪質滞納者に対しては厳正な滞納処分を行い、税負担の公平性を確保したい。

(仮称)藤田浦安南町線 都市計画決定に向けて

問 (仮称)藤田浦安南町線の今後の整備予定は。

答 外環状線のうち、浦安総合公園から国道30号までの区間であり、市が整備することになっている。現在、平成20年の都市計画決定を目指し、道路、橋りょうの予備設計や環境調査など準備を進めている。都市計画決定後、速やかに事業着手したい。

都市ビジョンが目指す 中四国の総合福祉拠点

問 都市ビジョン(素案)における医療や福祉分野の位置付けは。

答 本市は医療や福祉分野で多くの人材を輩出し、施設も充実している。ビジョンでは、こうした地域資源を生かし、有機的な連携を強化することで、最適な医療・福祉システムを構築し、市民が健康で安心して暮らせる都市づくりを行うとしている。将来、中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市として、健康、医療、福祉の分野で先導的な役割を果たしたい。

品目横断的経営安定対策 本市農業への影響

問 平成19年度から国の品目横断的経営安定対策が導入されるが本市農業への影響と対策は。

答 麦については、前年度作付けをした生産者の九割が参加する見込みだ。また、米については、すでに本制度と類似の政策が実施されており、影響は限定的と考える。制度の対象となれない担い手農家

については、経営効率向上のための農業機械・施設の導入に対する補助や制度資金の利子助成などの支援を継続したい。

消防団の活性化 若手や女性の活動に期待

問 消防団活性化に向けた魅力ある活動の取り組みは。

答 若者に魅力ある消防団を目指し、現代感覚を取り入れたデザインの活動服を導入した。また、女性消防団員による救命講習の指導や火災予防の啓発など、地域活動を通じて消防団をPRするとともに、各地区の「安全・安心ネットワーク」にも積極的に参加し、地域防災リーダーとしての活動を行っている。平成18年には、若手団員による「団員確保プロジェクトチーム」を立ち上げ、魅力ある消防団づくりと団員確保について検討している。

全国都市緑化フェア

平成20年秋から施設整備

問 全国都市緑化おかやまフェアの基本計画が示されたが、実施計画の策定をはじめ、今後の取り組みは。

答 フェアの具体的内容を平成19年3月末の実行委員会設置までに取りまとめた後、実施計画に着手し、19年度中に周辺会場計画を含む全体像をまとめる。これと並行して広報宣伝活動や市民協働の組織づくりを行うとともに、都市公園内の道路等の整備に着手する。20年秋頃から仮設施設等の整備を開始し、21年3月末のフェアのオープンを迎えたい。

吉備S.AスマートIC 外環状線との接続に向けて

問 国道180号岡山西バイパスと山陽自動車道との接続

に向けた取り組み状況は。

答 現在行っている吉備サービスエリアスマートIC社会実験の利用状況が好調であり、インターチェンジの恒久化に向け、国に高速道との連結許可の申請を行った。この新たなインターチェンジの設置や岡山西バイパス等の整備により、山陽自動車道と外環状線との接続が可能となり、当地区の広域交流拠点性向上のためにも、早期実現を目指したい。

西川・枝川緑道公園 平成19年度から整備に着手

問 西川・枝川緑道公園を再整備するが、全体計画のうち重点個所の整備時期は。

答 定期的にイベントが開催され、商業系の店舗や歩行者の通行が多い、桃太郎大通りからあくら通りまでの五百五十歩を重点整備区間とし、ゆつたりと水辺が見え、にぎわいが創出できる工夫を行うことで、魅力的な空間を演出したい。平成19年度から園路拡幅や憩いの場の確保などの整備に着手し、21年度の全国都市緑化フェアの開催までに完成させたい。



利用が好調な吉備S.AスマートIC